

「那須雪崩事故を教訓とした学校安全のための取組」に基づく
各種事業等の再編について

R5.2.1 学校安全課

1 再編にあたっての基本的考え方（第3回検討委員会了承事項）

- ・ 検証委員会の提言等は引き継ぐこととし、大項目（5項目）は変更しない。
- ・ 事故発生要因別に対応する取組を整理するなど、各取組の目的や位置付けを明確にする。
- ・ 再編後の取組は、第4回検討委員会に事務局案を提示し、意見をいただいた上で決定する。

2 再編の手法

- ・ 事故が発生した際の発生要因を分析する方法である「m-SHELLモデル」を用いて、対応した事業を分類の上、位置付けを整理。
- ・ 併せて、事業の追加・変更に加え、実施済事業の削除を行った。

「m-SHELLモデル」とは

東京電力ヒューマンファクターグループが提唱した、事故が発生した場合にそれに関わる人や周囲の環境を分析し、事故の発生要因を分析する手法。文部科学省が重大事故の発生要因分析に使用している。

m (management) : 組織体制

S (Software) : 研修やマニュアル

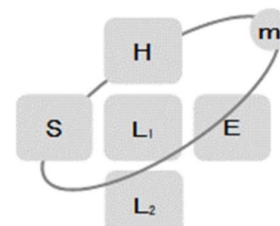
H (Hardware) : 施設や器具

E (Environment) : 物理的環境

L1 (Liveware1) : 事故発生の当事者（教員などの指導者）

L2 (Liveware2) : 事故の被害者及びその家族、被害者以外の生徒等

<m-SHELLモデルの概念図>



3 再編にあたって見直す予定の事業

区分	事業	見直す理由
追加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動指導員の活用（R5より(案)） ・ 新任教員に対する危機管理研修の開催（H30より実施済） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門性のある指導員を活用し安全の向上を図り、顧問教員の負担を軽減するため ・ 新任教員に那須雪崩事故の教訓を伝えるため
変更	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒と顧問による登山研修会の充実（R5より(案)） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義のみであった研修に実技を加え、指導者の資質向上等を図るため
削除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全課の設置 ・ 高校生の登山のあり方検討委員会の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いずれも設置済のため

4 再編案

別添のとおり。